

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
同志社国際学院

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		3.9	0.15					3.9
1.1 騒音		4.0	0.40					
1.1.1 1 暗騒音レベル	NC-30/普通教室、NC-25/礼拝堂(参考/音響特記仕様書)	4.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策								
1.2 遮音		4.3	0.40					
1.2.1 1 開口部遮音性能	T-2/体育館(参考/建具表)	5.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能	D40/廊下、エントランスホール(参考/音響特記仕様書)	4.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	L-55/普通教室(参考/音響特記仕様書)	4.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	L-55/普通教室(参考/音響特記仕様書)	4.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0				
2 温熱環境		3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
2.1.1 1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-			
2 負荷変動・通風制御性								
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-			
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0				
3 光・視環境		3.9	0.25					3.9
3.1 屋光利用		3.6	0.30					
3.1.1 1 屋光率	屋効率 $\geq 2\%$ (参考/建具表)	4.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30					
3.2.1 1 照明器具のグレア								
2 屋光制御	ブラインドと庇の併用(参考/特記仕様書A007)	4.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15					
3.3.1 1 照度		3.0	1.00	3.0	-			
2 照度均斉度								
3.4 照明制御	リモコンスイッチにて制御(参考/電灯設備特記仕様書E002)	5.0	0.25	3.0				
4 空気環境		4.3	0.25					4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
4.1.1 1 化学汚染物質	シックハウス対策に配慮した材料選定(参考/特記仕様書A004)	5.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レンオネラ対策								
4.2 換気		3.3	0.30					
4.2.1 1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	有効換気開口部1/15~1/20(参考/建具表)	4.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画								
4.3 運用管理		4.0	0.20					
4.3.1 1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50					
Q2 サービス性能			0.30					3.7
1 機能性		4.0	0.40					4.0
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40					
1.1.1 1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画	京都府まちづくり条例協議済み	4.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		3.5	0.30					
1.2.1 1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-			
3 内装計画	CGパースによる検討	4.0	0.50	3.0	-			
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1.3.1 1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の使用(参考/特記仕様書A002~A005)	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	用務寝室の配置、各教室に掃除用具入れ備え付け	4.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31					3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.48					
2.1.1 1 耐震性	重要度係数I=1.25	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33					
2.2.1 1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水管に塩ビライニング鋼管を使用し、Eは不使用(特記仕様書)	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.3 適切な更新							
2.4 信頼性			3.0	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		3.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.29			3.6
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31			
1	階高のゆとり	階高CH4050(立面図A040)	5.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0		
3.3 設備の更新性			3.8	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	構造部材を傷めることなく修繕、更新できる	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性	ドライエリアの計画	5.0	0.22			
6	バックアップスペース	サーバー室の計画	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			3.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内通路、風道、緑地の確保	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.7
LR1 エネルギー			-	0.40			4.1
1 建物の熱負荷抑制		PAL値による	4.0	0.30			4.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20			4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	全熱交換器扇の過半がナイトバージ機能付き	4.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電設備に対応できる計画	4.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		ERR=38.7	5.0	0.30			5.0
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.0
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	女子用便器は擬音装置を設置、小便器と洗面器は人感センサー	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63			3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤		3.0	0.33			
2	断熱材		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.9
1 地球温暖化への配慮		省エネに配慮した設備の選定(例、空冷ヒートポンプエアコンの採	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			3.6	0.33			3.6
2.1	大気汚染防止	オール電化契約のためガス等の燃焼器具は無し	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	ロータリーの設置、交通負荷を考慮した出入り口の配置(配置図)	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.6	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	外壁材につやけし塗装材を採用(外部仕上げ表)	5.0	0.30			